

授 業 科目名	道徳教育指導法		開講年次	2	単位数	2
担当形態	単独	教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）、選択科目（高一種免地歴・公民・情報）				
科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中一種免社会）、大学が独自に設定する科目（高一種免地歴・公民・情報）					
各科目に含めることが必要な事項		道徳の理論及び指導法（中一種免社会）				
サブタイトル	道徳的な実践力の育成をめざして			担当者	丸橋 唯郎	
授業概要	【概要】 道徳とは一般に、人間の行為や性格を人間や他の生命体との諸関係のなかで「よい・わるい」「正しい・不正な」等として評価するときの基準を意味する。道徳教育とは、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神を踏まえ、自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する教育活動である。					
	【到達目標】 道徳の意味内容を精確に理解した上で、学校の教育活動を通じておこなう道徳科の目標や内容、指導計画等を理解するとともに、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通じた計画的・発展的な指導によって、生徒たちに人間としての生き方について自覚を促すことができる能力を身につける。最終的に、恒常的に教育現実の議論の対象となる「いじめ」「体罰」等の教育的諸問題について議論できるようになる。					
履修条件	教育原理、教育心理学、教職論、教育行政学、単位取得者を前提とする。					
教科書・ 参考書	【教科書】 『中学校学習指導要領解説 道徳編』 【参考書】 『脱学校化社会』東京創元社。『教育思想史事典』勁草書房。『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波書店。					
授業回数	授業内容					
1	道徳教育とはなにか。 予習：道徳と倫理について調べる。復習：道徳の本質を理解し、法律との違いを説明できる。					
2	道徳教育と道徳性の目標と内容 予習：道徳教育の意義について考える。復習：道徳教育の内容を理解する。					
3	道徳の歴史と現代的な諸問題 --- 道徳性の詳細 予習：morality について調べる。復習：道徳的な視点から現代的な気養育問題を分析してみる。					
4	子どもの心の成長と道徳性 --- 道徳の内容と指導 予習：道徳を教えるということを考える。復習：子どもの心の成長を知り、有効な指導方法を考える。					
5	道徳の指導法① 道徳科の指導方法 予習：多様な指導方法を整理する。復習：効果的な指導方法について考える。					
6	道徳の指導法② 道徳科の学習指導案の作成 予習：授業の狙いと計画案の関係について調べる。復習：より深い計画案を作成する。					
7	道徳の指導法③ 道徳科の指導計画に関する配慮事項 予習：指導計画について考える。復習：具体的な指導計画をまとめる。					
8	道徳の指導法④ 道徳科における評価 予習：特性を踏まえた評価方法について考える。復習：さまざまな視点から評価する方法を考えてみる。					
9	道徳の指導法⑤ 道徳科における教材研究 予習：テキストの内容を理解しておく。復習：自分なりのオリジナルノートを作成してみる。					
10	道徳性と自主的な価値選択能力 予習：「選ぶ」という意識をもつ。復習：価値を選択する能力について考える。					
11	道徳教育とインドクトリネーション 予習：インドクトリネーションについて調べる。復習：教え込みの長所、短所をまとめる。					
12	道徳教育の意義と問題点 予習：問題点を列挙しておく。復習：自分なりの解決策を検討する。					
13	いかに道徳を伝えるか ①模擬授業 予習：道徳教育の可能性を考える。復習：振り返りを通じて、可能性についてまとめる。					
14	いかに道徳を伝えるか ②模擬授業 予習：道徳教育指導法を考える。復習：振り返りを通じて、指導法についてまとめる。					
15	道徳教育と完成可能性 予習：道徳教育の完成可能性について考える。復習：道徳教育についてまとめる。					
評価方法	授業中に複数回行なう小テスト（90%）、受講意欲・態度（10%）で評価する。					
評価基準	S・A：授業内容をよく理解しており、応用力もある、B：授業内容を理解している、C：最低 限の基礎力を備えている、D：基礎力が不足している、E：基礎力が著しく不足している、F：評価不能。					
その他	※高一種免地歴・公民・情報では「大学が独自に設定する科目」の選択科目として開講					